

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 コンドーテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	34,947	14.0	2,453	22.7	2,520	22.4	1,494	23.0
25年3月期第3四半期	30,642	5.9	1,999	26.0	2,059	25.3	1,215	41.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,682百万円 (41.3%) 25年3月期第3四半期 1,190百万円 (52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	54.12	54.09
25年3月期第3四半期	46.69	—

(注) 平成25年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,356	18,304	56.6
25年3月期	31,192	16,990	54.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,298百万円 25年3月期 16,990百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.50	—	7.50	14.00
26年3月期	—	6.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,588	13.2	3,121	17.2	3,207	16.4	1,994	24.2	72.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	28,757,000 株	25年3月期	28,757,000 株
26年3月期3Q	1,118,501 株	25年3月期	1,134,941 株
26年3月期3Q	27,623,783 株	25年3月期3Q	26,029,476 株

(注) 平成26年3月期第3四半期の期末自己株式数には、三菱UFJ信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する当社株式108,500株を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成26年3月期の個別業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,593	13.0	2,895	13.7	2,888	13.2	1,747	14.6	63.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れリスクが存在するものの、政府が打ち出した経済・金融政策を背景に円安・株高が進み、企業業績の回復や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調で推移しております。

当社グループ関連業界におきましては、震災の復興を中心に公共投資は堅調に推移し、新設住宅着工戸数も直近の統計では16ヵ月連続で前年同月を上回って推移しております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,947百万円(前年同期比14.0%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率は前年同期の22.4%から0.5ポイント低下したものの、堅調な建設需要を背景にした売上高の増加で補い、営業利益は2,453百万円(同22.7%増)、経常利益は2,520百万円(同22.4%増)、四半期純利益は1,494百万円(同23.0%増)と増益になりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <産業資材>

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している当セグメントは、公共工事の増加や景況感の改善に伴う民間建築工事の増加などを背景に、各資材が堅調に推移するとともに、太陽光発電設備向けのクランプやパイプの受注の増加、住宅着工の増加を背景にした木造住宅用金物の受注もあり、当セグメントの売上高は20,950百万円(前年同期比11.0%増)、セグメント利益は1,602百万円(同8.0%増)となりました。

#### <鉄構資材>

鉄骨資材の指標の1つとなる推定鉄骨需要量は引き続き回復基調で推移しており、民間を主体とした物流倉庫や商業施設などの大型低層物件などに加え、耐震改修工事の増加などもあり、当セグメントの売上高は7,918百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は678百万円(同55.4%増)と拡大しました。

#### <電設資材>

商業施設や特別養護施設などの建築物の増加や、省エネ・創エネ意識の高まりによるLED照明や太陽光発電設備、それに付随する電線等の需要を積極的に取込んだ結果、当セグメントの売上高は6,078百万円(前年同期比20.2%増)となりました。また、競合他社との受注競争の激化により、売上総利益率は低下したものの、売上高の増加で補い、セグメント利益は214百万円(同97.9%増)と大幅に拡大しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(31,192百万円)と比較して1,163百万円増加し、32,356百万円となりました。これは、法人税等及び剰余金の配当の支払い等による現金及び預金の減少並びに繰延税金資産の減少等があったものの、売上債権、たな卸資産及び信託受益権の増加等を主因として、流動資産が1,134百万円増加し、さらに、無形固定資産に係る減価償却及び繰延税金資産の減少等があったものの、有形固定資産の増加及び投資有価証券の時価評価等を主因として、固定資産が29百万円増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末(14,201百万円)と比較して149百万円減少し、14,052百万円となりました。これは、未払法人税等及び賞与引当金の減少等があったものの、未払金の増加等を主因として、流動負債が152百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金の減少等を主因として、固定負債が302百万円減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末(16,990百万円)と比較して1,313百万円増加し、18,304百万円となりました。これは、四半期純利益1,494百万円及び投資有価証券等の時価評価に起因したその他の包括利益累計額(貸方)187百万円による増加等があったものの、剰余金の配当387百万円の支払いによる減少があったこと等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(54.5%)比、2.1ポイント改善し56.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成26年2月14日)別途開示しております「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績等予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### （4）追加情報

（株式付与E S O P信託）

当社は、平成25年8月13日開催の取締役会において、当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」導入を決議しており、平成25年9月10日付で自己株式125,000株について、「三菱UFJ信託銀行株式会社（株式付与E S O P信託口）」に対して、第三者割当による自己株式の処分を実施しております。

当該信託については、経済的実態を重視する観点から、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っております。したがって、信託口が所有する当社株式や信託口の資産及び負債並びに収益及び費用については、四半期連結財務諸表に含めております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日現在、信託口が所有する当社株式（自己株式）数は108,500株であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,798,771	4,130,087
受取手形及び売掛金	11,841,405	13,122,985
商品及び製品	2,296,038	2,643,493
仕掛品	136,009	131,596
原材料及び貯蔵品	314,535	353,020
その他	1,982,810	2,122,394
貸倒引当金	△59,160	△59,080
流動資産合計	21,310,409	22,444,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,171,295	2,087,724
土地	5,752,013	5,752,013
その他（純額）	712,739	847,337
有形固定資産合計	8,636,048	8,687,076
無形固定資産		
のれん	122,466	76,541
その他	142,512	113,417
無形固定資産合計	264,979	189,959
投資その他の資産		
その他	1,062,320	1,126,095
貸倒引当金	△80,970	△90,921
投資その他の資産合計	981,350	1,035,173
固定資産合計	9,882,378	9,912,208
資産合計	31,192,788	32,356,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,361,178	5,380,601
短期借入金	800,000	650,000
未払金	4,470,985	4,947,291
未払法人税等	667,194	341,293
賞与引当金	476,941	257,061
販売促進引当金	—	29,097
その他	685,851	1,009,662
流動負債合計	12,462,150	12,615,007
固定負債		
退職給付引当金	1,177,931	1,125,058
役員退職慰労引当金	283,420	32,865
その他	278,399	279,221
固定負債合計	1,739,751	1,437,145
負債合計	14,201,901	14,052,153
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,434,555	2,439,266
利益剰余金	13,593,864	14,701,326
自己株式	△498,724	△491,516
株主資本合計	18,196,179	19,315,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317,956	489,469
繰延ヘッジ損益	16,319	32,570
土地再評価差額金	△1,539,569	△1,539,569
その他の包括利益累計額合計	△1,205,293	△1,017,529
新株予約権	—	6,520
純資産合計	16,990,886	18,304,553
負債純資産合計	31,192,788	32,356,706



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	30,642,961	34,947,434
売上原価	23,771,338	27,300,127
売上総利益	6,871,623	7,647,307
販売費及び一般管理費	4,872,565	5,194,291
営業利益	1,999,057	2,453,015
営業外収益		
受取利息	9,477	7,858
受取配当金	1,810	2,021
仕入割引	89,738	101,083
雑収入	19,514	14,225
営業外収益合計	120,541	125,189
営業外費用		
売上割引	40,302	44,686
支払利息	1,479	1,496
新株発行費	12,258	—
雑損失	6,556	11,870
営業外費用合計	60,597	58,054
経常利益	2,059,001	2,520,150
特別利益		
固定資産売却益	179	466
特別利益合計	179	466
特別損失		
固定資産売却損	238	310
固定資産除却損	7,848	4,619
特別損失合計	8,086	4,929
税金等調整前四半期純利益	2,051,095	2,515,687
法人税、住民税及び事業税	683,575	802,028
法人税等調整額	152,237	218,675
法人税等合計	835,813	1,020,703
少数株主損益調整前四半期純利益	1,215,281	1,494,983
四半期純利益	1,215,281	1,494,983

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,215,281	1,494,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,968	171,513
繰延ヘッジ損益	14,252	16,250
その他の包括利益合計	△24,715	187,763
四半期包括利益	1,190,566	1,682,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,190,566	1,682,747
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	18,867,051	6,718,767	5,057,143	30,642,961	—	30,642,961
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	168,061	64,455	28,710	261,226	△261,226	—
計	19,035,112	6,783,222	5,085,853	30,904,188	△261,226	30,642,961
セグメント利益又は損失(△)	1,483,728	437,002	108,182	2,028,913	△29,855	1,999,057

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△29,855千円には、のれんの償却額△45,925千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	20,950,551	7,918,548	6,078,334	34,947,434	—	34,947,434
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	233,571	62,046	47,315	342,933	△342,933	—
計	21,184,123	7,980,594	6,125,649	35,290,367	△342,933	34,947,434
セグメント利益又は損失(△)	1,602,772	678,933	214,040	2,495,745	△42,730	2,453,015

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△42,730千円には、のれんの償却額△45,925千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。